

# 社会資本整備審議会 道路分科会 平成27年度 第2回中部地方小委員会

## 議事概要

1. 日 時：平成27年3月8日（火）9:40～10:40

2. 場 所：中部地方整備局3階 大会議室

3. 出席者：

[委員]

うちだ としひろ  
内田 俊宏  
おがわ ひかる  
小川 光  
たかぎ あきよし  
高木 朗義  
なかもら ひでき  
○中村 英樹  
みづら もりゆき  
三浦 司之  
みずお り  
水尾 衣里

中京大学経済学部 客員教授  
東京大学大学院経済学研究科 教授  
岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授  
名古屋大学大学院環境学研究科 教授  
(一社)中部経済連合会 常務理事  
名城大学人間学部人間学研究科 教授  
※敬称略、五十音順 ○は委員長代理

4. 議 事

○平成28年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

- ・一般国道1号 藤枝バイパス
- ・一般国道247号 西知多道路（東海ジャンクション）

<委員からの主な意見>

【一般国道1号藤枝バイパス】

- ・本区間の両側では4車線化の事業が実施されているにも係わらず、2車線区間である事は、両側の事業効果も薄まってしまうことから早期に整備すべき。
- ・本区間の渋滞を起因とした生活道路への車両の流入により、日常の生活を危険なものとしている事は緊急的に解消する必要がある。
- ・津波災害などを踏まえた内陸フロンティアを拓く取り組みの効果も期待出来る。

【一般国道247号西知多道路（東海ジャンクション）】

- ・名古屋港南部の臨海工業地帯の物流効率化を支援するとともに、各種開発計画を支援する重要な道路であり早期事業化を期待する。
- ・国際空港への定時性・安全性の確保のため、西知多道路における代替性機能の必要性は高い。
- ・インバウンド観光の需要やリニア開業による空港と名古屋都市圏を結ぶ信頼性の高いネットワークを確保することは急務であり、今回の区間だけでなく、全線を一刻も早く整備する事が必要。

<結論>

- ・一般国道1号藤枝バイパス
  - ・一般国道247号西知多道路（東海ジャンクション）
- の新規事業化については妥当である。